

**日本貿易振興機構(JETRO)による
映画・映像産業
海外展開支援の取り組み**

2017年4月

日本貿易振興機構(JETRO)

クールジャパン戦略とJETRO事業

<戦略的海外展開>

①日本ブーム創出

日本の魅力の
効果的発信

②現地で稼ぐ

現地で稼ぐための
プラットフォーム構築

③日本で消費

日本に呼び込み
大きく消費を促す

J
E
T
R
O
事
業

BtoCへの取り組み
(消費者向けイベントにおけるビジネス機会の
組成)

■消費者向けイベントとの連携

- 異業種の交流促進セミナー

「Japanese Contents Drive Industries」
内閣府知財事務局と共催で、日本の
コンテンツが様々な異業種企業との連携に
よりビジネス促進に寄与する可能性があ
ることを発信(シンガポールのアニメ・フェ
スティバル・アジアと同時開催)

- J POP Signature

日本音楽のショウケースライブ付
ビジネス商談会(タイ・マレーシア)

海外見本市出展・バイヤー招聘商談会
(BtoBによる日本コンテンツの販路開拓)

■映画・映像分野：

- カンヌ・フィルムマーケット出展
- アメリカン・フィルムマーケット出展
- 香港フィルマート出展
- TIFFCOM招聘事業
- Anime Japan招聘事業

■音楽分野：

- MIDEM出展(カンヌ)
- 東京国際ミュージックマーケット招聘事業

■ゲーム分野：

- Game Connection America出展
- 東京ゲームショウ招聘事業

観光庁等との連携

■ JAPAN WEEKEND

経済産業省、観光庁、JNTOと連携して
4者共同で、クールジャパンとビジット・
ジャパンを総合的に発信(タイ・マレーシ
ア)

■ 香港国際ライセンスショー広報展

日本国内のキャラクター関連施設や
「ゆるキャラ」を活用した地域振興事例等
を紹介し、キャラクター関連ビジネスにお
けるインバウンド事例を紹介

日本コンテンツの海外展開 ～JETROの取り組み～（映画・映像分野等）

- JETROは日本企業のコンテンツ海外展開に関し、海外見本市参加や海外からのバイヤー招聘を通じ、商談機会の創出を実施。

販路開拓①（海外見本市）

海外見本市ジャパン・ブース出展支援

世界各国から業界関係者が参加する、主要見本市にジャパン・ブースを出展し、参加企業の海外展開を支援。

- 映画・映像分野：
 - 香港フィルマート（3月）
 - カヌ・フィルムマーケット（5月）
 - アメリカン・フィルムマーケット（11月）

海外コーディネーター

日本コンテンツ業界・企業を対象に、海外ビジネスに必要な不可欠な知識と人脈形成をサポート。

- 業界ネットワーク構築関連
- マーケティング相談関連
- 法的論点及びスキーム構築関連
（上海、バンコク、ロサンゼルス、パリ）

連携

販路開拓②（バイヤー招聘）

国内見本市における商談会 （バイヤー招聘）

国内におけるコンテンツビジネス商談のプラットフォームとしてバイヤーを招聘した商談会を実施。

- 映画分野：TIFFCOM（10月）
- アニメ分野：Anime Japan（3月）

新輸出大国コンソーシアム

海外経験豊富な専門家が、支援企業の状況に合わせた戦略策定や、海外見本市随行、商談立会い等を行い、契約締結までの支援を行う。

- 映画分野
- アニメ分野
- キャラクター分野

開発・制作

人材育成・人脈形成

マーケティング

販路開拓①海外見本市ジャパン・ブース出展

- アジア・欧・米の各地域における、最大の見本市への出展を支援することにより、年間を通じて、世界中のバイヤーとの商談機会を提供。

○ 香港フィルマート

- アジア最大級の映画・映像・TVマーケットである香港フィルマートに、UNI JAPANと共同でジャパン・ブースを設置。
- 映画、アニメ、ドラマなど、数多くの日本映像作品のセールスを行い、アジアを中心とした来場者に向けて、日本作品の魅力を発信。
- 2017年は、ジャパン・ブース初出展となる13社や地方局7社を含め、過去最多の38社が参加。
- 日本の地方の魅力に焦点を当てた作品や、震災復興をテーマとしたドキュメンタリー等、幅広い商談が活発に行われた。

会期：2017年3月13日(月)～16日(木)
場所：香港(コンベンション&エキシビションセンター)
出展企業：38社



- 香港フィルマートでは、経済産業省による「アジア・コンテンツ・ビジネスサミット(ACBS)」ワーキンググループや札幌映像機構による「Regions of Japan」共同出展も行われた。



○ カヌヌ・フィルム・マーケット

- カヌヌ国際映画祭の併設見本市であるカヌヌ・フィルム・マーケットに、UNI JAPANと共同でジャパン・ブースを設置。
- 出展者の作品セールスを行うと共に、世界中の映画関係者に日本映画の魅力を発信。

会期：2016年5月11日(水)～20日(金) (2017年も同規模で出展予定)
会場：フランス・カヌヌ(パレ・デ・フェスティバル)
出展企業：17社



○ アメリカン・フィルム・マーケット(AFM)

- 米国最大の国際映画見本市「アメリカン・フィルム・マーケット」に、ジャパン・ブースを出展。
- 沖縄観光コンベンションビューローの出展によるロケ誘致の紹介や日本酒や緑茶、和菓子のサンプリング提供も実施し、世界の映画関係者に日本の魅力全体を発信。

会期：2016年11月2日～9日(2017年も同規模で出展予定)
会場：米国・サンタモニカ(Loews Santa Monica)
出展企業：15社



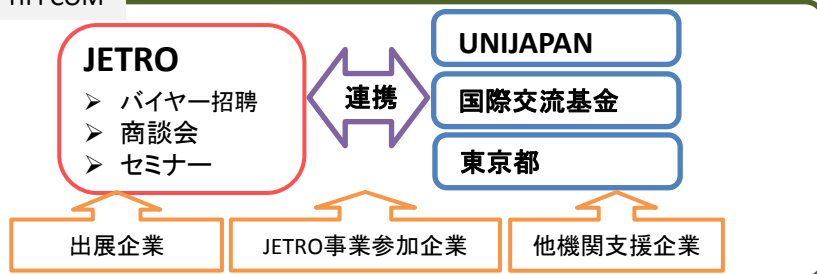
販路開拓②国内見本市における商談会（バイヤー招聘）

- 有望なバイヤー等を国内で開催される大規模見本市に招聘。商談会を通じて、日本企業に商談機会を提供。
- 主催者と協力してビジネスの場を組成することにより、見本市の魅力と国際プレゼンスの更なる向上に寄与。

○ TIFFCOM (東京国際映画祭併設マーケット)

- 日本最大の映像・コンテンツ見本市に併せ、10カ国から10社のバイヤーを招聘し、商談会を開催。
- UNIJAPANと共催で、海外で活躍するプロデューサー等をパネリストに海外市場のトレンドと国際共同制作に関するセミナーを実施。
- 国際交流基金、UNIJAPANと共催で、TIFFCOMに会場した東南アジアからのバイヤーと日本企業によるビジネスマッチングを併催。
- 東京都の共同制作支援事業(Tokyo Creators NEXT)と連携し、参加企業とJETRO招聘バイヤーとの商談をアレンジ。

TIFFCOM



会期：2016年10月25日(火)～27日(木)（セミナー：10月25日）
10月28日(金)（国際交流基金、UNIJAPAN共催
東南アジアビジネスマッチング）

場所：グランドニッコー東京台場、東京国際交流館プラザ平成会議施設
海外バイヤー数：10カ国10社（アジア3社、内中国1社）
参加日本企業数：64社
セミナー参加者：104名



○ Anime Japan

- 日本最大のアニメビジネス総合見本市であるAnime Japanにおいて、主催者との共同企画「AJ×JETRO Anime Biz Match」を開催。
- 海外見本市で発掘した有望なバイヤー等をJETROが海外事務所を通じて招聘。12カ国15社のバイヤーと日本企業とのマッチングを通じ、作品のセールスや共同制作等の商談機会を提供。

会期：2017年3月23日(木)～24日(金)

場所：東京ビッグサイト

海外バイヤー数：12カ国15社（アジア6社、内中国2社）

参加日本企業数：39社



- 「AJ×JETRO Anime Biz Match」にあわせ、中国とタイに配置しているJETROの海外コーディネーターによる相談会を併設。
相談会参加企業数：20社

- さらには、Anime Japanに合わせて帰国した中国のコーディネーターを講師に、音楽産業・文化振興財団(PROMIC)と共催で、ビジネスセミナーを開催。－「中国のコンテンツ産業の現況と日本音楽の可能性」
セミナー参加者：88名



成功事例

スタジオウェイブ株式会社(高知県)

地方発の映画が台湾へ

- 街に映画館がない高知県四万十市で市民が映画を楽しむことを目的とした四万十映画祭を開催。
- 地元高知県出身の監督やスタッフなどによる四万十を舞台に自転車レースに挑む中年男性たちを描いた映画「あらうんど四万十-カールニ-カーラン-」を2015年に同映画祭で上映。
- 国内だけで終わらせるのはもったいないと考えていたところ、JETROより海外見本市への出展の提案があり、2015年カンヌ・フィルムマーケットに出展。
- カンヌではアジア圏に狙いを定め、試写やバイヤーとの商談を行い、出展後にはJETROによるサポートも受けながら、台湾の配給会社と契約、台北と高雄での上映、また台湾のエアラインでの機内上映が実現した。

TIFFCOM商談会を通じ、メキシコで上映に成功

- 2015年、JETROがTIFFCOMに招聘したメキシコ企業と商談。同国での日本映画祭の上映作品として60都市100館での上映に成功。
- 成功を知った尾崎・高知県知事がTIFFCOM2016を視察され、同社代表と意見交換。



株式会社Tokyo New Cinema(東京都)

東京国際映画祭で高評価、海外販売に乗り出す

- 自主制作映画を手がける中川龍太郎監督の作品の配給・販売を中心に、起業。
- 2014年の東京国際映画祭スプラッシュ部門にノミネートされた同監督の「愛の小さな歴史」を軸に、2015年のカンヌ・フィルム・マーケットに初出展。
- ブースの確保や出展コストの面から、単独出展は困難であったため、JETRO、UNI JAPAN共催のジャパン・ブースに参加。

カンヌ初出展でポーランドのTV局と成約

- 初出展でも出展効果が得られるよう準備を進め、積極的な広報活動を展開した結果、ポーランドのTV局と商談が成立。
- JETROの新輸出大国コンソーシアムのエキスパートによる支援を受け、海外展示会出展やTIFFCOM参加などを通じ、海外ビジネスへの挑戦を継続中。

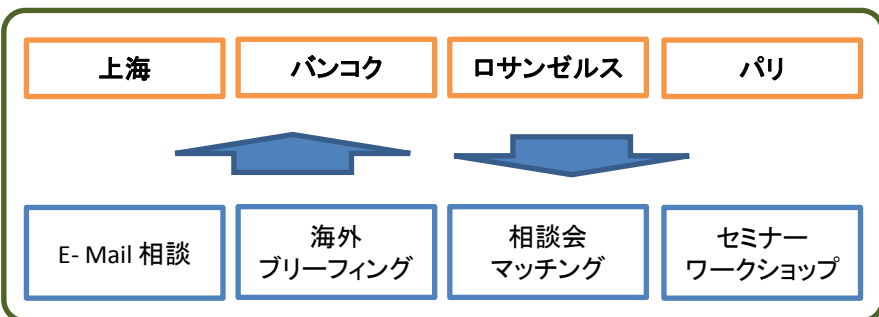


海外コーディネーター・調査・コンテンツ研究会

- 海外主要都市に海外コーディネーターを配置し、中小企業等からの相談に対応。
- 海外市場の現状や日本コンテンツの海外展開について、マーケット調査を実施し、情報提供。
- 北京コンテンツ研究会を定期開催し、北京、上海、広州、東京をテレビ会議で接続。

○ 海外コーディネーターによる情報提供・商談サポート

- 海外主要都市に海外コーディネーターを配置し、E-Mail相談、海外ブリーフィング、国内商談会や海外見本市出展における相談会、マッチング等を実施。
- コーディネーター帰国時にあわせ、セミナーやワークショップを開催。



【セミナー・ワークショップ】(開催地: 東京)

- 2016年10月27日(木)
「海外興行における日本音楽の様々なアプローチ」
- 2016年10月31日(月)
「中国コンテンツビジネスの概況および知財戦略」
- 2017年3月22日(水)
「中国のコンテンツ産業の現況と日本音楽の可能性」



【相談会】(開催地: 東京)

- Japan Content Showcase (TIFFCOM/TIMM)
対象国 : タイ、フランス
参加企業数 : 19社
- Anime Japan
対象国 : 中国、タイ
参加企業数 : 20社



○ コンテンツ市場調査レポート

- マレーシアにおけるコンテンツ産業調査 (2017年3月予定)
- 米国コンテンツ市場調査 (2015年11月、2017年3月予定)
- UAEのコンテンツ産業市場調査 (2015年10月)
- 香港コンテンツ産業調査 -テレビ・アニメ市場- (2015年7月)
- 中国における日系コンテンツ受入状況等データ (2015年7月)
- 中国コンテンツ市場調査(6分野) (2015年3月)
- ベトナムにおける映像市場調査 (2015年2月)
- ブラジルにおけるゲーム市場調査 (2015年1月)

○ 北京コンテンツ研究会 (2011年～)

在中国の日系コンテンツ関連企業を中心とした情報交換会を2～3ヶ月に1回、実施。(JETRO北京事務所が事務局)

- 2017年3月16日(木)
「時代は再び「Content is King」へ - 2016中国メディア産業発展観察」
- 2017年2月23日(木)
「実写化映画ビジネスに当たり、実務上、留意すべき事項」
- 2016年11月24日(木)
「中国のニューメディア産業の発展およびコンテンツビジネスチャンス」
- 2016年10月19日(水)
「故宮博物院「端門デジタル館・故宮デジタル研究所VRシアター」見学会」
- 2016年8月25日(木)
「日中にまたがるコンテンツ制作の現場から」